

喜多方市美術館 収蔵作品展



鈴木亮平《自画像》1995年喜多方市美術館蔵

絵
の
中
の
わ
た
し

2024

4/27 Sat. — 5/26 Sun.

- 開館時間 | 午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分）
- 休館日 | 水曜日
- 観覧料 | 一般130円、小・中・高校生50円、65歳以上75歳未満60円
未就学児・75歳以上無料
- 主催 | 喜多方市美術館

〒966-0094 福島県喜多方市字押切2-2
Tel.0241-23-0404 Fax.0241-23-0406
URL: <http://www.kcmofa.com/>

KITAKATA CITY MUSEUM OF ART



上田暁子《その湖と湖》2015年



菊地養之助《春を待つ》1983年



齋藤ナオ《little star〜ユニ帽の少年〜》2012年



齋藤隆《62歳》2005年

収蔵作品展 絵の中のわたし

喜多方市美術館は、主に会津地方や福島県出身の作家、または県内に特別な思い出がある作家とその作品にスポットをあてています。

本展では「人物」をテーマに、作家自身を描いた自画像や、現実と空想上の世界に登場する人物を描いた作品、日常生活風景を描いた風俗画など当館のコレクションから約50点展示します。

人物画は、古今東西において絵画や彫刻の主要なテーマとして表現され、現代でも人気の高い画題(モチーフ)です。作家が人間を描くことは、単に対象を描くだけでなく、その人物と向き合った時間、表現力と描きたいと思う追求心が形となっています。そして、その表現の原点は人物そのものにあるのではないのでしょうか。

作家が作中の人物に込めた想い、また人物の特徴や表情から読み取れる物語を想像しながら、新たな発見や多面的な表現の世界をお楽しみください。

■ 対話型鑑賞

日時：5月11日(土) 13:30～

場所：喜多方プラザ文化センター
第1会議室

講師：石田俊輔氏

(学びファシリテーション代表)

参加費：無料

定員：15名 ※要申込

電話にて事前申込が必要です。

・対話型鑑賞とは？

複数の参加者で話し合いながら進めていく、鑑賞方法です。新たな発見や意見に触れ、自由な美術の世界を楽しむことができます。

・講師プロフィール

愛知県出身。大学で美術史を専攻し、学芸員資格取得。大学院ではコミュニケーション学研究科を修了。市民協働まちづくりセンター長、国際機関での情報専門官、喜多方市地域おこし協力隊員を経て、現在は学びファシリテーションの代表として活動している。



KITAKATA CITY MUSEUM OF ART

次回展覧会のお知らせ

黒沼令展(仮)

6月8日(土)～7月21日(日)

■ 展示作家一覧 (敬称略)

石山かずひこ	猪巻清明	上田暁子	菊地養之助
久家三夫	齋藤隆	齋藤ナオ	酒井三良
鈴木亮平	竹久夢二	富樫京子	細井良雄
山中現	渡部菊二	渡部周三	

※掲載作品は、都合により展示作品と異なる場合があります。

■ 学芸員による作品解説

日時：5月18日(土) 14:00～

場所：喜多方市美術館展示室

参加費：無料 ※当日観覧券が必要です。

■ 交通アクセス

- ・JR 喜多方駅から約 1.5 km徒歩 20 分タクシーで 5 分
 - ・磐越自動車道会津若松 IC から約 19 km車で 25 分
 - ・磐越自動車道会津坂下 IC から約 20 km車で 25 分
 - ・会津縦貫道喜多方 IC から約 4 km車で 10 分
- * 喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。

